

# 富士フィルムグループが 目指す姿

「Sustainable Value Plan 2030 (SVP2030)」で掲げた目標を実現するために、2021年4月公表の中期経営計画「VISION2023」で定めた重点施策を推進し、サステナブル社会の実現に貢献していきます。

## 目指す姿の実現に向けたロードマップと重点課題(マテリアリティ)

### 事業ポートフォリオの強化と 次なる飛躍への基盤を構築

#### VISION 2019

売上高 2兆3,151億円  
営業利益 1,866億円  
CO<sub>2</sub>排出削減 25%  
(2013年度比)

### ヘルスケア・高機能材料の 成長加速と持続的な成長を 可能とする事業基盤の構築

#### VISION 2023

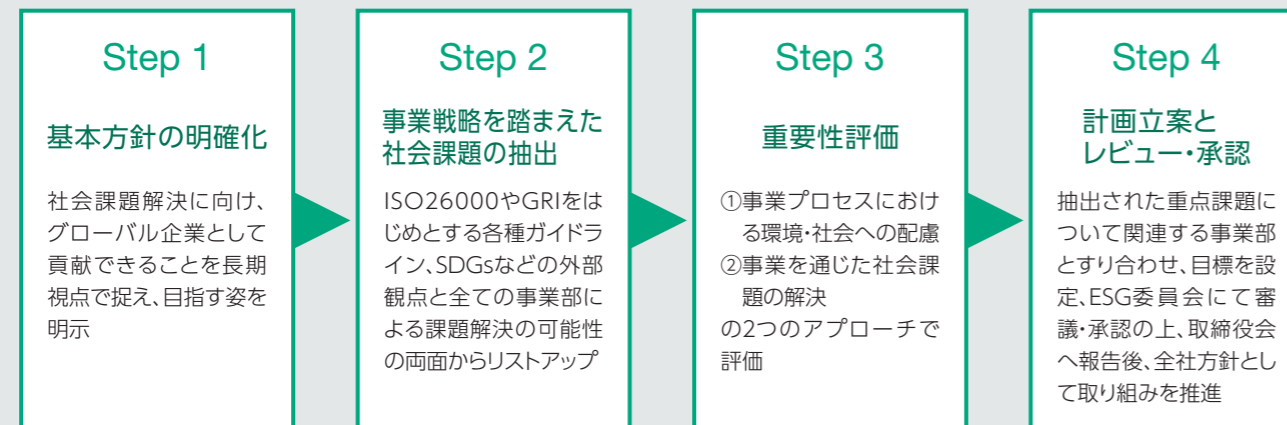
売上高 2兆7,000億円  
営業利益 2,600億円  
CO<sub>2</sub>排出削減 11%  
(2019年度比)

CO<sub>2</sub>排出削減は自社が使用するエネルギー起因(Scope 1+2)を記載(2030年度の製品ライフサイクル全体でのCO<sub>2</sub>排出削減目標は2019年度比50%)

### 重点課題(マテリアリティ)特定プロセス

SVP2030では、2030年に想定される「解決すべき社会・環境課題」と「富士フィルムグループの事業成長」の観点からマテリアリティ分析(項目の重点評価・選定)を行いました。

重点課題については定期的に見直しを行い、社会課題の解決により一層貢献すると同時に、当社グループの企業価値向上を図っていきます。



詳細は、「サステナビリティレポート2022」P10-13をご覧ください。▶ <https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/report>

## 革新的な技術・製品・サービスを通じて 社会課題の解決に取り組み サステナブル社会の実現に貢献

#### SVP 2030

売上高 3兆5,000億円以上  
CO<sub>2</sub>排出削減 50%  
(2019年度比)

(参考) 2019年度比50%削減は、2013年度比65%削減に相当

## サステナブル社会の実現 Value from Innovation

- グローバル規模の環境・社会の課題を「イノベーション」で解決する
- 事業を通じて、社会にポジティブなインパクトを与える
- ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、社会の期待に適切に応える

